



SDGsに関心を！～できることから一歩ずつ～【続編です】

学校だよりNo.15でSDGsについて掲載しました。目標ひとつにつきワンアクションというわけではなく、ひとつの行動がいくつかの目標にせまる行動になる場合が多いのです。既に保護者の皆様の職場でも推進されているかも知れませんが、今回は家庭で実践できる一例を紹介します。

◆～例～「食品ロスを限りなくゼロにしよう」

日本の食品廃棄量は年間約2759万トン(2016年調査)。そのうち、まだ食べられるのに捨てられている食品は年間約643万トンです。食料自給率が低い日本では、食べ物の半分以上を輸入に頼っています。一方、食糧不足で困っている国も多くあります。また、見方を変えると、魚や海藻などの海の資源、穀物や野菜などの陸の資源などが、食べられないのに捕獲・栽培されていることとなります。食品ロスをなくすことを今以上に意識していくことで、下の目標に近づきます。

目標2 飢餓をゼロに 目標14 海の豊かさを守ろう 目標15 陸の豊かさも守ろう
これらを達成しようとする動きは二次的に、次の目標に迫るものになります。

目標1 貧困をなくそう 目標3 すべての人に健康と福祉を
目標16 平和と構成をすべての人に 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう
つまり、ひとつの行動が、多くの目標に迫る結果となるわけです。



「我が家だけが頑張ってもなあ」と思う方もいらっしゃるでしょう。その通りです。より多くの人が取り組んでこそ成果が表れます。しかし、「1人」「1家庭」「1地域」が動き出さないと、最初の1歩が踏み出せず、結局のところ目標を掲げただけに終わります。子どもたちが社会で活躍する時代がいろいろな意味で豊かなものであってほしいと願うなら、今のうちに1歩目を踏み出す必要がありますよね。食品ロスの問題以外にも取り組むべきことは山積しています。「私なら」、「我が家なら」、「我が町なら」何ができるかを考えるため、SDGsに関する情報を集めたいですね。

冬休みにタブレットを持ち帰ります 充電器の準備はお済みでしょうか？

ICT教育が全国展開する中、桑名市では基本的にすべての小中学校でタブレット端末の持ち帰りをし、それを活用する宿題を出すことになっています。以前、桑名市教育委員会が発行した文書でご案内したように、今後は充電器の貸し出しはしません。これは充電器は補償対象外のためです。9月のオンライン授業時は緊急性があったため特別に貸し出しました。また、近い将来、タブレット端末はほぼ毎日持ち帰りとなります。このこともふまえ、各家庭で用意してもらうことをお願いしております。接続部がライトニングですので、iPhoneをお持ちなら共用できます。そうでない場合、準備がまだのご家庭におかれましては、ご準備をお願いします。



わからない場合は電気屋さんで「端末側がライトニングのコネクターになっている充電器」といえば案内してもらえます ↑